

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人志楽園福社会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム猿投の楽園)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
入浴支援	wells リフトキャリー		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和4年3月14日	1	令和4年 3月 14日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>特別養護老人ホームの入居者様29名、併設のショートステイ利用者10名が1週間で延べ78回の入浴を行っており1日6名の入浴サービスを行っていますがほぼ半数3名の方が個浴を利用されております。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>浴槽またぎの不安がある方は、本事業で購入したリフトキャリーを利用して頂いています。導入前は1台しかなかったため、入浴に不安のある方の入浴計画がスムーズでなかったが、2台をフル稼働出来ることになったので安全安楽な入浴サービスを提供出来るようになった。そのことによって入浴にかかる負担の軽減効果が出ており職員の満足度と、安心して機械浴ではなく、個浴に入れることで、入居者、利用者の満足度も上がった。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3 / 4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
介護職員常勤換算 20	介護職員常勤換算 16
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
介護、看護の常勤換算で 18.7	

②と③が異なる場合はその理由

介護職員の個人的な離職もあり、想定していたより介護職員が1名減ってしまったため

見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組

ICT機器の導入でスマートフォンをユニットに配置し、記録が手書きではなくなったことの効率化及び、バイタル測定時、体温計や血圧計から直接スマートフォンに飛ぶようになり、その結果、入居者の体調管理が非常に効率化出来るようになった。

利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組

ユニット会議やケアカンファレンス時に食事量、水分接種量、体重の変化やバイタル測定値が週単位、月単位でその場で確認出来るようになり、記録自体が実践的に使えるようになり、それ以前のように職員が残業して数字を拾うような不効率な時間が無くなった。

これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること

- ①介護以外にかかる時間の軽減で、その分介護に時間がかけられ、個別に向き合う時間が増える
- ②活かしたデータ活用で、入居者の健康管理にタイムリーな活用が期待できる
- ③ユニットリーダーの勤務時間の中で事務作業にかかる時間が軽減され、職員の指導に掛ける時間が増えることで質の統一、向上が期待出来る
- ④業務の効率化により職員間のコミュニケーションの時間が増えることで離職の防止が期待出来る

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人昭徳会)

事業所名 (特別養護老人ホーム安立荘)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
入浴支援	リフト付シャワーキャリー (LS-500)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年12月28日	2式	令和3年10月27日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

使用状況は、以下のように継続的に実施している。

- ・一般浴を利用される入居者の方で、浴槽へ自力での入退浴が困難な方全員に使用している。
- ・入浴は毎日行われているので、当介護ロボットも毎日使用している。
- ・シャワーキャリーに座っていただき、洗身後に浴槽に備え付けられた専用レールにシャワーキャリーを接続し、リフトにより浴槽へシャワーキャリーごと入退浴できるため、人力(抱え込み)による入退浴介助がなく入浴業務が行えている。

【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・浴槽への入退浴を機器導入前までのように人力で抱えなくなったので、職員の腰痛負担や入居者の身体的負担が圧倒的に減り、入居者転倒などリスク軽減により職員の精神的負担も継続的に軽減されている。また、入退浴介助ついて、導入前2名体制から導入後1名体制が継続されている。
- ・入退浴の介助時間が短縮された分、入居者の浴槽への入浴時間に充てることができている。
- ・機器導入により、普段、機械浴(寝浴・車浴)を利用される入居者の一部の方が、一般浴を利用するなど入浴の幅が広がっている。

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (有限会社ケアサポート)
 事業所名 (キリンデイサービス愛西)
 サービス種別 (通所介護サービス)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴装置		株式会社いうら リフト付きシャワーキャリー	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年10月28日	1台	令和3年10月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の身体機能に合わせ、適切な使用を実施している(安全面と機能維持)。 ・介護職員の腰痛予防とご利用者様の身体的負担軽減の目的にて、浴槽への出入りにて介護ロボットを活用している。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】 (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボット導入により、職員の介護負担が軽減すると共に、ご利用者様の身体的負担を軽減することができた。 ・直接の起因かは定かではないが、現在離職率は昨年と比較し軽減しており、職員・ご利用者様の満足度も高い。 ・入浴時の事故に関しても、現在まで発生は無く、安全に入浴ができていると共に、入浴時間の短縮も図れている。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 （社会福祉法人和敬会 ）
 事業所名 （グループホームなごみの郷）
 サービス種別（認知症対応型共同生活介護）

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援		入浴支援リフト バスアシスト	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年11月2日	2台	令和3年11月2日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>1ユニットずつ（計2台）既存の個浴に設置し使用している。 すべての入居者に対し使用することはせず、浴槽を跨ぐ動作の困難な入居者にのみ使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>（介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等）</p> <p>これまで浴槽を跨ぐことが難しい入居者に対しては、介助者2人で入浴介助を実施していたが、バスアシストの導入により、1人での介助が可能となった。これにより、介助者の身体的な負担の軽減に成功した。更に、1人の介助者は他の業務を行うことができるなどの間接的な効果もあった。</p> <p>その他、浴槽を跨ぐ動作は非常に不安定であり、2人で介助を行っていても転倒に対する不安が介助者だけでなく入居者にとってもあったが、そのような転倒に対する不安も軽減することができた。入居者にとっては、入浴が大変だという想いを払拭することができたという効果もあった。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 元気寿会)
事業所名 (特別養護老人ホーム 葉栗の郷)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率	3/4 ・ 1/2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
入浴支援	・リフト付きシャワーキャリー ・専用レール「LTB-100」		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年12月24日	1	令和3年11月10日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】 ほぼ毎日、5人から6人入浴で使用している。利用者もリフトに慣れ快適に入浴している。			
【介護ロボットの導入効果】 (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等) 介護従事者もリフトの操作に慣れスムーズに使いこなしている。導入時よりも入浴時間が短縮されたことで入居者と会話や散歩など余暇を過ごす時間が増えた。			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
入居者の方が湯船に入られる際、個浴にシャワーキャリーが設置していなかったため転倒防止のため2人で介助する必要があった。	シャワーキャリー導入後一人で対応できる。
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
シャワーキャリーを導入したことで介護職員1人で対応することができた。	
②と③が異なる場合はその理由	
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組	
シャワーキャリーを活用したことで座位の不安定な方でも安定した入浴介助ができるようになり2人介助の時間が短縮できた。短縮した時間を他の入居者への介助に充てることができサービスの質の向上に繋がった。	
利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組	
入居者一人あたりの入浴介助時間が40分であったが、シャワーキャリーを導入したことで10分程度短縮できた。また、入居者を抱え上げる行為が無くなったため介護職員の腰痛防止に繋がっている。	
これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること	
シャワーキャリーを導入したことで、新人職員が入浴介助を行っても入居者が安心して入浴できる。入居者の生活の質が向上する。	

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 愛礼会)
 事業所名 (団欒の家 いわくら)
 サービス種別 (認知症対応型通所介護)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
入浴支援	Wells リフトキャリー		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年12月22日	1台	令和3年12月22日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>使用対象者：2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす使用者で浴槽を跨ぐのが難しい利用者 ・立位不安定で浴槽の出入りが危険な利用者 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>利用者に対する効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴槽に入れずシャワー浴をしていた利用者も湯に入ることができ、満足度があがった。 ・シャワーキャリーを使用することで、移乗回数が減り負担なく入浴できるようになった。 ・下肢筋力低下で立つことの難しい利用者を入浴して頂ける事が出来るようになった。 ・パーキンソン病の方で体が固まってしまう方がスムーズに入浴できるようになった。 <p>職員に対する効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移乗回数が減ることで身体的な負担が軽減された。 ・入浴事故のリスクが軽減され安心して入浴介助ができるようになった。 ・腰痛のある職員でも入浴介助が行えるようになった。 ・二人介助で入浴していた方を一人介助で入浴して頂くことが出来るようになった。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (エーエスケアサービス株式会社)
 事業所名 (介護付き有料老人ホームさふらん大府)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

適用を受けた補助率	3 / 4		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
入浴支援	Wells リフトキャリーWLC-10		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年11月16日	1	令和3年11月16日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 これまで2階から1階に移動して入浴していた座浴利用者3名に対し、2階浴室でリフトキャリーを使用して入浴を実施している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴室までの移動距離が短くなったことで移動介助の時間が短縮した。 ・生活フロアと同フロアで入浴することで入浴担当スタッフとフロア担当スタッフとの連携が取りやすくなった為、介護業務の負担軽減につながっている。 ・リフトでの入浴対象者が減少したことにより、入浴における移動時間の大幅な短縮には至っていない。 ・身体的負担を理由とした退職者は出ていない。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
2.13 : 1	2.30 : 1
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
2.89 : 1	
②と③が異なる場合はその理由	
令和4年度後半に離職するスタッフが減少したことと合わせて、コロナ対策としての増員をした為	
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在までに全居室見守りシステムを導入済みであり、導入後、居室での転倒は減少している。また、端末による状態把握が出来ることで、スタッフ（特に夜勤スタッフ）の負担軽減につながっている。今後は、インカム等の導入を検討しており、誘導（入浴時・レクリエーションなど）をスムーズに行えるよう改善を図る予定。 	
利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・介護機器導入に合わせ介護マニュアルの見直しを行い、業務改善及び職員の負担軽減につながっている。土日の入浴実施日を移動し、出来た時間の余裕で他業務に活用している。 ・入居者の状況に合わせて入浴機器を適切に選択し介助を実施できるよう、介護リーダーを中心に定期的な見直しを行っている。 	
これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること	
<p>目標：令和3年からの3年間で慢性的に腰痛に悩む職員を50%減少するとともに、利用者の満足度を向上させる。</p> <p>効果：身体的な負担を理由とした離職者を0にし、平均勤続年数を3年以上にする。</p>	

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社イズミ)

事業所名 (介護付き有料老人ホーム八幡の郷)

サービス種別 ((介護予防)特定施設入居者生活介護)

適用を受けた補助率		3 / 4	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援		セキスイリフトキャリーWLC-100	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年11月30日	1台	令和3年11月19日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

入浴介助(脱衣室 洗い場 浴槽における移乗介助、入浴介助 シャワー浴など)において介護ロボットを使用して、利用者様の肉体的精神的負担の軽減を図り、安心安全な入浴を実現している。また介護職員の肉体的負担の軽減により介護職員の職業病である腰痛の要望に貢献している。

【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・入浴介助時に二人介助が必要な利用者様に対して利用者様の状態によっては介護ロボットの使用により一人での介助が可能になり、業務の効率化 入浴業務の短縮が図れた。
- ・利用者様の肉体的負担、精神的負担を軽減する事が出来た。
- ・介護ロボットを使用する事により従業員の肉体的 精神的負担を軽減する事により離職の防止 定着化を進めることが出来た。
- ・業務の効率化により介護職員がより入居者様に寄り添ったケアの時間が確保できた。

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
介護度の重い方に対して介護職員2名での入浴介助となっていた。2:1従前	介護職員1名での入浴介助が可能となる場合があり、人員体制の効率化が図れる。1.5:1程度
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
介護職員1名での入浴介助が可能となる場合がある事により、人員体制の効率化が図れた。 1.5:1程度	

②と③が異なる場合はその理由

見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組

トーテックアメニティ社製見守りライフシステムの見守りセンサ(ベッドセンサ)を使用している。固定脚タイプ3台、キャスタータイプ12台 合計15台 トーテックアメニティ見守りライフは厚生労働省令和3年3月発行資料にて実用化された福祉用具・介護ロボットとして掲載されている。

見守りライフを使用する事により、ベッド足に取り付けたセンサからの情報によりベッド上の動きを検知し、離床前の早い段階(起きだし、起き上がり、端坐位)で転倒転落リスクを低減し、夜間でも夜勤者が利用者の状況を的確に把握する事によりスタッフの肉体的 精神的負担を軽減し、より最適な介護を行う事を可能としており人員体制の効率化を実現している。

介護記録の電子化として(株)フリービットEPARKヘルスケア社製「介護記録アプリ」を使用している。入力用のiPadと「介護記録アプリ」により、介護記録を従来の手書きからiPadに入力する事による電子化を実現して

1) 入居者様の状況を的確に把握し職員同士がシステムの中で共有する事により入居者様に対するケアの質の向上を図れた。

2) 電子化により、従来よりも省力化効率化を行い、職員の精神的 肉体的ストレスの低減と人員体制の効率化により生まれた時間を入居者様へのサービスの質の向上に充てる事が可能となり、結果的に入居者サービスが向上した。

利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組

- ・業務の効率化により、介護職員がより入居者様に寄り添った介護を実行する時間が確保された。一人一人の入居者様へのケアの質の向上に取り組んだ。
- ・機器の活用により、介護職員の腰痛予防含め身体的負担の軽減を図り、腰痛、ケガの防止、等のリスク低減が実現することができた。
- ・身体的負担の軽減により職場環境の改善を行い、定着率の高い働きやすい職場環境を構築することができた。

これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること

- ・入居者様へのよりそばに寄り添った、質の高いケアが提供する時間が確保される。
- ・入居者様の入浴時の事故防止、身体的精神的負担の軽減につながる。
- ・介護職員の身体的精神的負担の低減により、業務上のストレスを減らすことが出来た。今後もより効果が期待できる。
- ・負担の少ない職場環境の実現により、職員の定着率の向上に繋がる。
- ・機器の活用による事故発生の防止、リスク低減を図ることが出来た、今後も同様の効果が期待できる。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人社団 同仁会)
 事業所名 (ショートステイファミリエ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
入浴支援	Well リストキャリー		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年11月15日	1台	令和3年11月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>湯につかる位置が低く、利用者様より不評であった為、使用していない。 暑い時期もしっかりつかれないと不評であり、使用していない。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>ほとんど使用していないため、効果は不明だが、職員の負担は軽減することが予想できる為、 利用方法を検討していく。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社ミズノ)
 事業所名 (ひだまりの郷たけとよ)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
入浴支援	バスリフト TOTO EWB100SR		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年11月9日	1	令和9年11月9日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日4～5名程使用している。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の腰痛防止、職員の心理的負担の軽減に繋がっている。 ・二人介助から一人介助への移行できた。 ・職員による「ムダ」「ムラ」「ムリ」がなくなった。 ・利用者の安全で快適な入浴の実施に繋がった。 ・寝浴, 一般浴の2択の選択肢からリフト浴を入れた3択の選択肢を設けることができた。 			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
2名介助。	1名介助。
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
1名介助。	
②と③が異なる場合はその理由	
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・浴室内担当者が減ることで、誘導や事前のトイレ誘導するスタッフに回すことができ、ベッド臥床から入浴を終えるまでの入浴全体にかかる時間の短縮に繋がり、入居者の身体的負担、精神的負担の解消に繋がった。 インカム使用にて時間ロスなく看護職員が処置に入ることできるようになった。 	
利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・浴室内担当者が減ることで、誘導や事前のトイレ誘導するスタッフに回すことができ、ベッド臥床から入浴を終えるまでの入浴全体にかかる時間の短縮に繋がり、入居者の身体的負担、精神的負担の解消に繋がった。 ・休憩時間の確保、人員配置を手厚くしたレクリエーションプログラムの実施やコミュニケーション機会の確保。 	
これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること	
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション機会の増加による顧客満足度の向上。 ・腰痛など身体的負担を理由とした離職率の低下。 	

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 相志会)
 事業所名 (グループホームこころくばり)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
入浴支援 リフトキャリー		Wells リフトキャリー	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和4年1月14日	1台	令和3年11月30日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>導入した事業所にて、日曜日を除いた日以外は1日2名以上のご利用者様の入浴支援に活用をしている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>グループホームといえど、重介護者が増加してきており、導入した機器により、利用者様も危険や不安を軽減しながら入浴を楽しむことができています。また、職員の介護負担の軽減にもつながり、腰痛を気にせず入浴支援を行えるようになったと喜びの声が出ています。</p> <p>また、導入した機器により、今まで入浴支援(介助)において、2人介助が必要であったり、入浴時間が長くなってしまったといった介護負担・時間の短縮を図ることが出来、余暇活動の充実に職員をあてることが出来ている。</p>			